

活 用 事 例	石川県金沢市立小坂小学校	小林祐紀教諭
活用事例タイトル	筆者の工夫を探れ！～図・表・写真・グラフの効果とは～	
対象授業科目/活動	小学校第 5 学年国語科	
授業または活動の概要(目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICT の使用局面など)	授業のねらいおよび概要：筆者が統計資料を用いた意図や、その効果について考えることができることを、本時の目標とした。説明的文章の概観、文章構成の学習を終えた本時では、教材文で多用されている統計資料を読み取り、筆者がこれらの資料を多用した意図に迫った。 本時では、ジグソー型学習を採用することで、一人一人が必要観をもって意欲的に学ぶ姿が見られた。 実施時期：11 月 教科名：国語科「天気を予報する」(光村図書) 対象学年：小学校第 5 学年 参加人数：37 名 使用した ICT 機器：情報端末 (iPad) 情報端末を活用する際の留意点： iPad には教科書に使われている資料と本文を PDF として入れておく。ただし、授業を公開する場合などは著作権上の配慮が必要である。	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	・映像メディアである統計資料や写真と本文をつなげて、筆者が統計資料を用いた意図や、その効果について説明する。 (拡大縮小、線を引いて聴き手に分かりやすくできる)	
評価、振り返り(活動の評価や児童・生徒の声など)	子どもたちのふり返りより ・自分の担当する図表をしっかり説明することが全体での解決につながってうれしい。 ・子どもたちからは、友だちの考えを聴いて、答えが導き出せてなんか楽しかった。 ・友だちの説明を聞いて、画面を操作しながらの説明だったから、とっても分かりやすいと思った。	

小学校5年生 国語科

筆者の工夫を探れ！～図・表・写真・グラフの効果とは～

金沢市立小坂小学校 小林祐紀

■展開

課題（・指示○発問）	学習活動	留意点
・筆者が多用している資料について工夫を探ろう。 ○それぞれの資料はどんな良さがあるのか。 ・班で資料の担当を決めて、一人一人が考えましょう。 ・考える資料が同じ人同士が集まって考えを聴き合ひましょう。 ・各自の考えを班の友だちに伝えましょう。 ○筆者が資料を使った意図は何か。	担当する段落を音読する。 同じ資料について考える友だちと、聴き合って考えを確かにする。 班に戻って、担当する資料の良さを説明する。 資料を使うことでいったいどんな良さが生まれるのか、筆者の意図は何であるのか考える。	iPad には、教科書を PDF 化したものを入れておく。 iPad を活用して、資料と叙述を結びつけて説明したり、資料を拡大して説明したりするなど、どんな説明の仕方をしているのかに着目させる。 立場が異なる相手と何度も熟議を重ねることで多様な考えを理解できることを伝える。 4 人の考えをまとめると、学習課題に対していったいどんなことがいえるのか考えるように指示する。

